

# 令和5年度 伊勢崎市佐波郡中体連新人剣道大会要項

1. 主催 伊勢崎市佐波郡中学校体育連盟 伊勢崎市教育委員会 玉村町教育委員会

2. 後援 伊勢崎佐波剣道連盟

3. 日時 令和5年9月23日(土) 会場準備・竹刀検量 集合・開館 9:00  
9月24日(日) 本大会 ― 男女 団体戦・個人戦  
集合・開館 8:00 (保護者入場 8:30) 開会式 8:50  
解散 16:00

4. 会場 玉村町社会体育館  
佐波郡玉村町大字上之手1517 0270-65-6699・6537

## 5. 大会役員

部長	関口 雅晶 (玉村中)		
副部長	佐藤 昭宏 (玉村中)		
委員長	真下 東 (宮郷中)		
副委員長	日暮 由貴 (三中)	大久保智史 (玉村中)	
委員	秋山 俊樹 (二中)	根岸久美子 (二中)	岡田 明子 (三中)
	上原 康暉 (四中)	須田 涼子 (殖蓮中)	涌沢 直行 (宮郷中)
	小此木勇季 (宮郷中)	星野 誠 (赤堀中)	小板橋梨依 (赤堀中)
	山崎 凌佑 (あずま中)	菅原 晃子 (あずま中)	吉澤 春雄 (境南中)
	神坂 あき (境南中)	竹内 博利 (四ツ葉中)	後藤 淳 (四ツ葉中)
	勅使河原章雄 (玉村中)		
事務局	大久保智史 (玉村中)	真下 東 (宮郷中)	
会計・報道	星野 誠 (赤堀中)		

## 6. 競技役員

進行	涌沢 直行	日暮 由貴	大久保智史	真下 東
コート作成	①竹内 博利	②上原 康暉	③星野 誠	④大久保智史
検量	竹内 博利	星野 誠	大久保智史	

**※本大会より竹刀検量を行います。検量に合格していない竹刀を大会で使用すると失格になります。**

試合場係	①岡田 明子・本木 弘章	②須田 涼子・後藤 淳
	③小此木勇季・秋山 俊樹	④菅原 晃子・吉澤 春雄
本部記録・賞状	星野 誠	
接待・受付	勅使河原章雄・神坂 あき・根岸久美子	
救護	山崎 文子 (看護師)	
審判員	伊勢崎佐波剣道連盟審判員	

高体連・小体研審判員 (田代、秋場、貞形、近藤、小此木、茶畑)  
中体連審判員 (涌沢、真下、大久保、竹内、小板橋、山崎、上原)

試合場係生徒 ①赤堀中男子 ②殖蓮中・宮郷中 ③四ツ葉中 ④赤堀中女子・あずま中  
※個人戦の試合では、団体戦で補員だった生徒にも試合場係に入ってもらいます。

## 7. 部活動指導員

羽鳥 晃 (殖蓮中) 本木 弘章 (二中)

## 8. 参加資格

伊勢崎市佐波郡中学校体育連盟に加盟した学校に在学し、当該学校長の参加許可を得た生徒であること。

## 9. 監督・引率

参加選手の監督・引率は、出場校の校長・教員・部活動指導員とする。

## 10. 参加制限

○団体戦 ― 男女各1チーム (正選手5名・補員2名)  
○個人戦 ― 男女とも各校正選手5人+正選手以外の2年生

1.1. 競技規則・競技方法

(1) ○団体戦

- ・男女とも、予選リーグ、決勝トーナメントを行う。(男9チーム、女子8チーム) 県新人戦シード校決定戦における戦績を踏まえ、市郡新人戦のシード校を設定する。
- ・3分3本勝負。決しないときは引き分けとする。
- ・リーグ戦の各試合の勝敗は、勝者数→総本数の順で決め、すべて同数の場合は引き分けとする。
- ・リーグ戦の順位は、勝ち数(勝ち1、引き分け0.5)→勝者数→総本数の順で決め、すべて同数の場合は代表者戦を行う。代表者は任意で、3分1本勝負とし、決しないときは延長戦を勝敗の決するまで行う。三すくみの場合は3分3本勝負とし、延長戦は1本勝負で勝敗の決するまで行う。
- ・決勝トーナメントの勝敗は、勝者数→総本数の順で決め、すべて同数の場合は代表者戦を行う。代表者は任意で、3分1本勝負とし、決しないときは延長戦を勝敗の決するまで行う。

○個人戦

- ・トーナメント戦。
- ・3分3本勝負。勝敗が決しないとき、延長戦を勝敗の決するまで行う。
- 延長戦は2分きざみとし、2回行うごとに3分程度の給水時間をとる。なお、給水の際は場外の待機場所で面を外す。また、給水時間に選手はアドバイスを受けないこと。

(2) 大会細則

- ①突き技は禁止とする。
- ②上段はとらせない。(隻腕については、その都度協議する。) 二刀は使用させない。片手技は有効打突としない。無理押しはしないこと。
- ③サポーターなど(足袋・テーピングを含む)の使用については、試合場係の先生に届けてオーダー表に記入してもらうこと。両足可。届け出のない場合はその場で外させる。ゴムや革およびすべり止めを底にはった物などは禁止。指先単独でのテーピングは届け出不要とする。
- ④防具・剣道着・袴の着装をきちんとすること。  
面紐の長さは、結び目から40cm以内(長い場合は切る)。面の乳革は黒・紺とする。また、面金を黒塗りにするなど通常の配色でない面は使用しない。胴紐はほどけないようにする。小手紐はきちんと結ぶ。お守りなどの付属品はつけない。  
鍔(つば)の色は革色、白色のものを使用する。透明色は認められずその場で取り替えさせる。
- ⑤竹刀は3尺7寸以下を使用する。重さは男440g、女400g以上とし、先端部最小直径(男子25mm以上・女子24mm以上)、ちくとう最小直径(男子20mm以上・女子19mm以上)が基準に満たない物の使用は禁止する。竹刀の検量は、団体戦・個人戦出場者は必ず行うこと。

【違反をした場合について】

- 該当競技者は失格とし、既得権を認めない。さらに相手に2本を与える。
- リーグ戦においては、補員の補充は認めず、すべての試合に前項を適用する。ただし、トーナメント戦においては、次の試合から補員の補充を認める。個人戦においては、発覚時点で失格となり、以前の試合にはさかのぼらない。

- ⑥選手の名札は、校名を上横書き、名字を縦書きにし、垂れにつける。
- ⑦団体戦に4名で出場の場合は次鋒が、3名で出場の場合は次鋒・副将が不戦敗となる。
- ⑧試合中は、面マスクまたはマウスガードを着用する。
- ※その他は、全日本剣道連盟剣道試合・審判規則および、全日本剣道連盟による「主催大会実施にあたっての感染拡大防止ガイドライン」「暫定的な試合審判法」に準ずる。

(3) 申し込み方法

9月15日(金)までに事務局宛に選手名簿データを送信する。また、大会初日に職印を押した選手名簿を提出する。※事務局に送ったデータを決定とし、提出する選手名簿がそれと異なることのないようにすること。

(4) その他

- ①監督および審判の服装は、紺のブレザー・白のワイシャツ・えんじのネクタイ・グレーのズボン・紺の靴下に準じたものとする。(全日本剣道連審判員服装規定に準じる。)
- ②決勝戦は伊勢崎佐波剣道連盟・高体連・小体研・中体連の先生方に審判をお願いする。
- ③表彰 団体は1位～3位、個人は1位～3位及び敢闘賞に賞状を与える。  
団体戦優勝・準優勝チームには、優勝杯・準優勝杯を与える。  
(前年度優勝校は優勝杯、準優勝校は準優勝杯の返還を行う。)  
男子：①あずま中 ②玉村中 女子：①宮郷中 ②赤堀中
- ④各校はオーダー表(B4用紙2枚を貼り合わせたもの)を24日に提出する。

	先	次	中	副	大
○					
○					
中					

※女子は学校名を赤で記入する。

- ⑤保護者の応援は密にならないよう留意し、声援は控え拍手のみとする。
- ⑥会場的一般利用者に配慮し、保護者は2階ギャラリーのみを使用することとし、1階ギャラリーやロビーは使用しない。
- ⑦送迎、駐車場等での事故やトラブルは、一切の責任を負えませんので十分ご注意ください。